



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

伊勢大神楽

11月15日(日) 午後2時

重要無形民俗文化財

「伊勢大神楽」が今年も

記念館にやってきました。

袴姿に笛、太鼓、あてやかな獅子舞や曲芸で、無病息災、家内安全をお祈りします。

当日は、辻川区氏神、鈴の森神社で奉納の舞、次に柳田國男と兄弟の生家を祈り清祓いをし、記念館前庭で獅子舞を納めてもらいます。

文化財に指定されている神楽を身近で見られるチャンスです。



昨年の伊勢大神楽

ご家族、お友達などお誘い合せの上、多数ご観覧ください。



場所 記念館前庭
観覧料 無料
雨天の場合は館内で実施します。(但し、無料は神楽上演時間のみ)

伊勢大神楽とは

江戸時代から400年続く伝統芸能で、獅子舞や曲芸を披露しながら西日本各地を巡行しています。伊勢神宮に参拝できない人にお札を届けたのが始まりといわれています。

くによはん覚書

片足脚絆きやはん

むかし、とくぼうといふ鳥がおりました。よくみのった麦畑で穂を食べていると、麦のいががのどにささって苦しみだしました。

それを見た友達の鳥が、大急ぎで親鳥にしらせに行きました。親鳥はちよつど働きに出かけるところで、脚絆をはきかけていましたが、このしらせをきいて驚き、脚絆を片方だけつけたままとんで行きました。しかしもう間に合わず、子の鳥は死んでいました。それ以来、毎年麦のみのる時分になると、親鳥はとくぼう、とくぼう、といつて我が子をしたって鳴きまわるようになりました。



そしてこの鳥は今でも片方の足にだけ毛がはえているということであります。(出典 柳田國男、口本昔話集)

この話にでてくる鳥はカッコウのことです。(『日本大百科全書』)



かっこう

記念館の囲む木々は、少し色づき冬支度を始めました。文化に親しむこの季節には、辻川界隈は絶好のロケーションです。ご家族そろってお越しください。

会員更新・新会員募集中

顕彰会では、平成22年の会員の更新、また、新規会員募集を受け付けております。会員の皆様は引き続き、更新いただき

ますとともに、新規加入についても、お友達等にご推進いただきますようよろしくお願いいたします。入会者には会員証をお渡ししています。

法人会費 一〇〇〇〇円
個人会費 一〇〇〇円

特典



記念館無料入館
個人(本人+家族一名)
法人(二口・四名まで)
もちむぎのやかた
レストラン1割引他



ご利用案内
【開館時間】
午前9時～
午後4時30分

【休館日】
月曜日・祝日の翌日、
12月28日、1月4日

【入館料】
大人2000円(団体割引は
学生1500円 20名以上)
小人1000円